



## 令和2年9月定例会

今定例会は、9月1日（火）から9月18日（金）までの18日間の会期で開かれました。市長から提出された議案24件、報告3件をすべて可決・認定し、議員提出議案の2件もすべて可決しました。主な内容をピックアップして紹介します。

### 令和2年度能美市一般会計補正予算（第5号）

## 新型コロナウイルス感染症対策に5億8,983万円を追加

令和2年度能美市一般会計補正予算は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ8億円を追加し、予算の総額は287億3,700万円となりました。

新型コロナウイルス感染症対策の強化については、「安全安心対策」「家計対策」「経済対策」を3本の柱とした予算が追加されました。

### 安全安心対策（2億3,275万円）

#### 災害緊急時備蓄品費 （5,000万円）

避難所の感染症対策強化のためのパーティションや非常用電源等を追加整備

#### 院内感染防止対策事業 （1,610万円）

安全な検査・診察環境を整えるため、発熱者専用の診察スペースを整備

#### 小中学校施設改修事業 （2,056万円）

小中学校の衛生環境を整えるため、トイレ手洗いの自動水栓化を実施

#### スクールサポートスタッフ配置事業 （618万円）

休校が続いたことによる教育の遅れを取り戻すため、授業支援を行うスクールサポートスタッフを増員

#### コミュニティバス運行支援事業 （830万円）

コミュニティバス「のみバス」に、運転席の間仕切り設置と車内の抗ウイルス加工、Web上でバスの位置情報がリアルタイムに把握できるシステムを導入

#### 行政証明書窓口受付システム導入事業 （652万円）

寺井・根上窓口センターにマイナンバーカードを利用した行政証明書窓口受付システムを導入

など

#### 表紙の写真

左上から時計回りの順に、能美ふるさとミュージアムの外観、テーマ展示室「能美電が走っていた時代」、こどもミュージアムのみっけ、テーマ展示室「能美の誕生」、体験棟、テーマ展示室「能き美しき能美の自然」。



## 家計対策（1億5,947万円）

### ママの出産♡子育て応援事業 （3,761万円）

新型コロナウイルス感染症拡大の中、出産されたママの子育てを応援。令和2年4月28日から令和3年3月31日までに出産した方を対象に、子ども1人あたり10万円を支給

### 市内施設・店舗応援事業 （8,572万円）

売上が減少している市内施設・店舗で使える『のみ応援特典券』の第2弾を実施。購入金額の50%が割引となる特典券5千円分（2千円券2枚+千円券1枚）を広報のみ10月号の紙面に印刷して発行（令和2年12月31日まで有効）

など

## 経済対策（1億9,761万円）

### 雇用等維持支援事業 （9,200万円）

生産調整や感染拡大防止のため工場等を休止し、売上が減少している市内事業所等に対し、雇用維持・設備維持を支援

### 新規採用者確保支援事業 （1,400万円）

市内に住民票を有する者（見込含む）を新規採用（新卒者）する企業を支援。採用者1人あたり10万円を支給

### 販路拡大支援事業 （1,000万円）

新たにインターネットを活用した販売サイト（ECサイト）を立ち上げ、販路拡大に向けた取り組みを行う事業者を支援

### のみブランド化推進事業 （3,600万円）

能美市のお土産品や食の魅力を発信するWebサイトを整備し、売上が落ち込んでいる店舗を情報発信の面で支援

など

※金額は1万円未満を切り捨てて表示

## 令和元年度能美市一般会計歳入歳出決算

### 実質収支は5億6,952万1,064円の黒字決算に

令和元年度一般会計決算は、歳入総額236億4,791万6,579円に対し、歳出総額228億7,958万2,252円と、歳入歳出ともに平成30年度決算額を上回りました。歳入歳出差引額から翌年度への繰越財源を差し引いた実質収支は、5億6,952万1,064円の黒字決算となり、このうち3億円を財政調整基金に積み立て、残り2億6,952万1,064円を翌年度へ繰り越すこととなりました。

#### 財政調整基金

地方公共団体が年度間の財源の変動に備えて積み立てておく貯金のこと。災害などにより予期せぬ支出・減収が生じた際に、財源不足を補填するために活用します。

なお、令和元年度末の基金現在残高は、38億4,304万6,681円です。